



風と大地の恵みに新たな希望
が芽吹く、郷土愛あふれるまち
～みんなで作る暮らし続けたい南区～

みなみ風



スマホの
カメラを
かざすだけ！
読み取り



南区役所だより
音声版

発行／新潟市南区役所
編集／南区役所地域総務課
〒950-1292 南区白根1235番地
電話 025(373)1000(代表)
FAX 025(373)2385

南区ホームページ <https://www.city.niigata.lg.jp/minami/>

Eメール chiikisomu.s@city.niigata.lg.jp (南区役所地域総務課)

南区の人口(令和7年3月末現在、カッコ内は前月比)：41,991人(－85) 男：20,476人(－49) 女：21,515人(－36) 世帯数 16,861世帯(+40) (住民基本台帳による)

知るともっと
おもひろい!!

白根大風合戦

南区の一大イベントといえば「白根大風合戦」。今年は6月5日(木)～9日(月)に開催します。
今号では「風合戦に行ったことはあるけど、知らないことがたくさんあるよな」という人に向けて、
風合戦や風のことについて紹介します。これを読んで今年の白根大風合戦をもっと楽しみましょう！
問 産業振興課 ☎372-6505

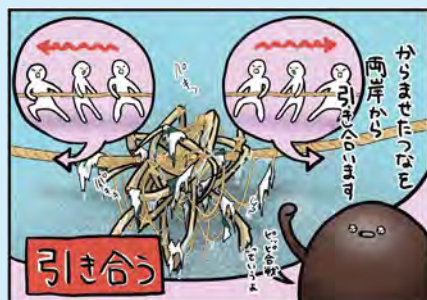
1 風マシホールさんによるルール説明



1 東側(白根)→西側(味方)の順番で風を揚げます。



2 東側の風に西側の風を覆いかぶせ、東西の風の綱を絡ませて川に落とします。



3 川に落ちた風は、川の流れを利用してがっちり絡ませ、会場中央の「引き合い場」まで移動させ、絡ませた綱が切れるまで引き合います。



4 相手の綱を切った方の勝ち！勝利数、切った綱の長さで優勝を競います。



先に揚げる東側の風は低空で相手待ち、西側の風は東の風の綱の上に覆いかぶせるのが上手な揚げ方！東西それぞれの揚がり方に適するように、東と西で風の作りが違ってきます。



堤防下で「引き合い」に参加しよう！

引き合いは誰でも参加できます。引き合いをしている堤防下で「引っ張ってー!!」と風組の人が応援を呼んでいたらチャンス！一緒に綱を引っ張って、合戦に参加してみましょう！

東、西側のどちらでも参加できます♪



引き合いの様子(西側)

2 風合戦会場と大風組について



大高組



桜蝶組



五郎組



役者組



綱町組



本新蝶組



白根橋から見た景色

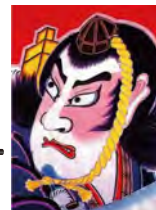
白根側

東軍

味方側

西軍

風見橋から白根橋の間で風を揚げよう！
大風組は13組。巻風組は38組あるんだ



弁慶組



達摩組



謙信組



中蝶組



北若組



日吉丸組



一心太助組

3 風の大きさ・部位の名前

大風は24畳位の大きさです



人間

約1.6m

約2.8m

約2.2m

約7m

約5m



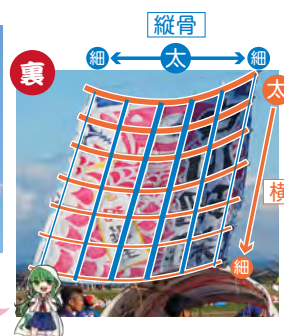
大風



表

鼻緒

元綱



裏

縦骨

太

細

横骨

太

細

位置によって竹の太さを変えているよ

4 知ってる？風合戦にまつわる話

風合戦のはじまり

江戸時代の中ごろ、中ノ口川の堤防改修工事の完成祝いに白根側の人々が風を揚げたところ、対岸の味方側に風が落ち、田畑を荒らしたことに腹を立てた味方側の人々が対抗して、風を白根側にたたきつけたことが起源と伝えられています。このため、風が相手側に向かって揚がるように工夫して作っており、先人の技術にさらに改良を加え現在に至っています。

5 大風作りの1年を紹介



大風は各風組で25～30枚作ります！

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7～10月	11月	12月
元綱(新綱)作り(5～6年に一度)	紙貼り	竹の面取り	骨組み	鼻緒付け・鼻緒立て	風合戦		竹取り・骨割り	
	下絵描き		色塗り				紙の購入	

竹の面取り…割った竹をナタやカンナで節取りをして、翌年まで乾燥させます。風合戦で使用する竹は1年間乾燥させたものです。



乾燥前

乾燥後

紙貼り…ロール紙を切って貼る方法と半紙(45cm×32cm)を貼り合わせる方法の2種類があります。半紙は約320枚を貼り合わせると大風の大きさに！

下絵描き…紙にチョークで下絵→薄墨→濃い墨の順番で描きます。



骨組み・色塗り…竹で骨組みを作り、紙を貼ります。

東と西で作業の順番に違いがあります！
東側：骨組みに貼る→色塗り 西側：色塗り→骨組みに貼る

鼻緒立て…風の揚がる角度は鼻緒のバランスで決まります。東・西側どちらも鼻緒立ては地面に置いたまま調整する独特な方法です。

元綱作り…約130mの元綱を作るのに、50kgの麻が必要になります。制作は全て手作業で行い、麻を割いて揉み、綱を捻ります。



竹取り…骨組みに使う竹を調達し、割ります。

用途によって竹の種類を使い分けています！
○マダケ(縦骨用・軟らかい)
○モウソウチク(横骨用・硬い)
割り方は4つ割り、6つ割り、8つ割りなど組によって違いがあります



竹割りの道具

紙の購入…ロール紙(94cm×64m)を約20本使います。